

## トップメッセージ

# 自然を大切にすることを 受け継いでいます。

宝酒造の主たる商品であるお酒は、穀物という自然の恵みをもとに、微生物の発酵という自然の働きがわり造り出されます。私どもは、豊かな水ときれいな空気といった自然環境があるおかげで、事業を行うことができます。そのため、当社には古くから自然を大切にすることが受け継がれており、その気持ちを「自然と社会と人間との調和をめざす」旨の企業理念として制定したのは四半世紀以上前の1985(昭和60)年のことでした。

当社の環境活動も、自然を大切にすることから始まっています。サケを川に戻す市民運動を支援したカムバック・サーモンキャンペーンは、1979(昭和54)年に始まり、企業の自然保護活動支援の先駆けとなりました。その後も各地の運動を支援、1985(昭和60)年には公益信託タカラ・ハーモニストファンドを設立し、継続的に自然保護活動を支援する体制を作りました。

また、2004(平成16)年より開催し、10年目を迎えた宝酒造「田んぼの学校」では、次世代を担う子どもたちに、農作業や自然観察を通じて自然の恵みと命のつながりを学ぶ場を提供してまいりました。

当社が事業を展開する上では避けて通れない空容器問題については、一般的なりデュース、リユース、リサイクルの3Rに、発生そのものを回避するという意味のリフューズを加えた4Rの考えで取り組んでいます。従来からの一升びんなどのリユースシステムの利用とともに、商品のはかり売りや容器の軽量化など環境配慮型商品の開発にも継続して取り組んでいます。

そしてこれらの結果を独自指標で評価した「緑字決算」は、1998(平成10)年の導入以来、環境会計の先進的な取り組みとして高い評価をいただき、今日に至っています。

緑字企業報告書は、このような環境に関する取り組みに加え、お客様の視点からの品質管理や安全安心への取り組み、さらには社会の視点、社員の視点からの取り組み等をご紹介した総合的なCSR報告書です。この報告書によって、当社の考え方と活動をご理解いただき、またご意見を承ることができれば幸いです。

宝酒造株式会社  
取締役社長

柿本敏男



#### 企業理念

---

自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します。

#### 行動規準

---

消費者のいきいきは、私のいきいき —すべての行動は消費者の視点からスタートします—

1. パートナーと協力し、自ら率先して仕事の質を高めます。
2. いつも「なぜ？」と問いかけ、変革をすすめます。
3. 自信と誇りにあふれるプロをめざし、スキルアップに努めます。
4. ユニークな発想で、摩擦を恐れず議論します。
5. 情報感度を磨き、目標に向かって迅速にチャレンジします。
6. 自己の言動に責任をもち、法・社会倫理を守り、自然との共生に取り組みます。